

2022年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第2種）（様式）

2022年2月25日 9時30分～12時

（注意）解答は、A・Bそれぞれ解答用紙1枚で解答すること。

科 類	文科一類
-----	------

受験番号	G				
------	---	--	--	--	--

※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

(1)技術的には可能でかつ大きな経済的利益が見込まれるにもかかわらず、やはり法的・倫理的見地から行ってはならないとされるものごとがある一方で、(2)法的・倫理的見地から問題があるにもかかわらず、法的規制がなかなか進まず、實際上盛んに行われているものごともある。そのような問題に対処するために法学・政治学に何ができるかを、特に現代社会がグローバル化していることを念頭に置いた上で、(1)と(2)のそれぞれにつき具体例をあげて論じなさい。

B（出願時に選択した日本語以外の言語で解答する問題）

平等原理とは「等しきものは等しく扱うべし」ということだと言われる。しかし、現実の社会では、一見異なるものを等しく扱い、あるいは一見等しいものに異なる扱いをする方が適切な場合もある。そのような扱いが、上記の原理にもかかわらず、正当と言える理由を、具体例をあげて論じなさい。